

# 令和6年度 小樽市立西陵中学校 学力向上改善プラン

## 1 生徒の実態

- ① 全国学力・学習状況調査では、国語科で6.2p、英語科で0.4pと全国平均正答率を上回ったが、数学科は3.0p、全国平均正答率を下回った。数学科では「関数領域」を苦手としている。
- ② 標準学力調査では、全国正答率と比較して国語科で2.3p、数学科で6.3p、英語科で4.0p下回った。達成率では国語科は上回ったが、数学科は6.6p、英語科で10.3p下回った。
- ③ チャレンジテストでは、全道平均と比べて国語科では1年生は0.1p上回ったが2年生で0.6p、3年生で1.8p、数学科では1年生で1.9p、2年生で2.1p・3年生で1.9p下回った。
- ④ 全国学力・学習状況調査結果（児童生徒質問紙）では、自分で計画を立てて勉強をする生徒が増加してきているが、家庭学習が1時間未満の生徒が25.3%いる。

## 2 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。

### <数学科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題を全道平均以上とする。

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
全学年	・「授業のルール」の生徒自己評価で「守っている」を9割以上にする。 ・「早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整える」の生徒自己評価を7割以上にする。 ・全国学力・学習状況調査で「平日の家庭学習2時間以上」の生徒の割合全国平均以上にする。 ・スケジュール表を活用し、「平日の家庭学習に1時間以上取り組む」生徒を70%以上とする。

## 3 目標を達成するための具体的な方策

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 「自学自習スケジュール表」の全校的な活用及び、MEXCBTの効果的な活用により、学習習慣の確立を図る。
- ② 1人1台端末の活用による個に応じた指導の充実を図る。
- ③ 朝読書の時間の効果的に活用により、読解力・表現力の育成を図る。（新聞を読んで200字作文にチャレンジ他）

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① ICTを活用した授業改善に取り組み、理解力の定着を図る。
- ② 授業のルール定着に全職員で取り組み、学習規律を徹底する。
- ③ 研究部を中心に、小学校と連携した授業力の向上を図る。
- ④ 各教科で単元テストやチャレンジテストを効果的に実施する。

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 家庭学習ノートの実施と指導の充実（各学級・各教科）。
- ② 放課後補習及び長期休業中補習（樽っ子サポート事業）の実施。
- ③ 小中一貫の視点から学習習慣形成に向けた連携を深める。

## 4 実施計画

年月日	計画内容
R6年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」下学年の実施</li> <li>・MEXCBTによる問題配信の取組開始（通年）</li> <li>・朝読書活動の定着への取組徹底</li> <li>・家庭学習ノートの実施</li> <li>・チャレンジテスト（前年度サポート問題）の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R6全国学力・学習状況調査の実施</li> <li>○全国学力・学習状況調査 自己採点</li> <li>○標準学力調査実施（第2学年）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会・各教科部会による計画検討</li> <li>・新聞を活用した200字作文の実施（通年）</li> </ul>
	○標準学力調査結果分析
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> <li>・朝読書との連携による「読書ゆうびん」作成</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト（1学期サポート問題）の実施</li> <li>・保護者・生徒アンケートの実施・分析</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施</li> </ul>
	○R6全国学力・学習状況調査結果分析
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科での授業交流と検証の取組</li> </ul>
	○保護者への調査結果の説明
	○学力向上改善プランの評価・改善
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほっと」の実施</li> <li>・公開研究会の実施</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> <li>・チャレンジテスト（2学期サポート問題）の実施</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・生徒アンケートの実施・分析</li> </ul>
R7年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施</li> <li>・職員自己評価の実施分析</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学力向上改善プランの作成</li> <li>・保護者・生徒アンケート分析結果公表（ホームページ等）</li> </ul>

## 5 評価方法

- (1) ① 「自学自習スケジュール表」の実施状況の確認による評価
- ② 全教科での授業交流や生徒アンケートによる分析
- ③ 時間ごとの提出物等による評価
- ④ 端末活用状況に関わるアンケートの実施
- (2) ① 全国的な調査結果の分析及び生徒アンケート結果の分析
- ② 生徒アンケート「授業のルール」の項目による評価
- ③ 校内研究授業における研究協議の評価
- ④ チャレンジテストや確認テスト等の分析
- (3) ① 学級・教科担任による家庭学習内容等の評価
- ② 教科担任や学習委員会による活動状況の評価
- ③ 生徒アンケート「早寝、早起き、朝ご飯」の項目による評価